

2025年ルネサスフランセーズ世界総会報告

2025年6月24日

パリ 瀬藤澄彦

日時：6月12日（木）午後2時半～5時

場所：パリ16区 15 rue La Perouse

フランス海外領土圏アカデミー本部3階会議場

参加：約50名位 日本代表部は星出、森、小林、山口、（以上オンライン）、中野、井村、
畠山、（ケイコ・ベルジュソン・ジャズピアニスト）等が現地出席。

冒頭、フランス海外領土圏アカデミー会長のお祝いの挨拶。



- 1 議長 ファダ会長 は最初から終わりまですべてファダ会長のご発言と仕切り
- ① 米国のルネサンス・フランセーズ（RF）会長 氏のご逝去に1分間の黙祷
永久名誉会長に就任
- ② ランド（M Landeau）がRFの名誉総裁に公式に就任
- ③ **rapport moral**: ますます世界的な組織になってきた。
- ④ RF栄誉賞メダークドールがアルメル・クルボン氏に授与 同氏、拠点をパリからヌー
ベルカレドニア・ヌメアに移す。

2 世界の代表部の報告：

- ①カメルーン visioconferenceで挨拶
- ②チュニジア RF創設にチュニジア政府の認可
- ③ポルトガル 前通商大臣
- ④マルタ 新規加盟 イタリアの支持があった。
- ⑤米国 会長の逝去 副会長が引き継ぎ

- ⑥レバノン 治安上のリスクのなかの活動
- ⑦アルゼンチン
- ⑧ロレーヌ州ナンシーに創設
- ⑨イル・ド・フランス州 パンテオンでアイテン氏指揮のオーケストラ演奏
- ⑩ジョルジア 創設
- ⑪モロッコ
- ⑫エクワドル
- ⑬フランス・プロバンス・コートダジュール州 モンサンミシェル・パラシュート実施
- ⑭フランス・ロワール州報告
- ⑮セルビア 会長 1915年の創設 重要性を説明
- ⑯日本 会長 16時15分頃 RF文学賞委員会会長Elyan Jones氏のブルースト講演会を東京で開催等 最近の会の状況説明。賛助会員企業獲得の難しさ指摘。
- ⑰ルクセンブルク 会長 日本のカリグラフィー版画など展示会
- ⑱フランス・オクシタニ州 7月14日凱旋門セレモニー

3 RF事務局の報告—Geneferet事務局長より

- ① 2024年度の会計の概況の説明があった。
- ② 18人の役員で本部の体制が**任期3年重任**ありで始まった。
- ③モナコにシモーヌヴェイク薔薇植樹予定。
- ④新しいルネサスフランセーズの**新書版サイズ**の本の出版の紹介があった。第2回目の本が今秋に出版予定。タイトルは「100年のルネサンフランセーズ」。

4 各代表団の陳述と質疑応答

5 RF栄誉賞授与式

- ・米国人女性作家にその小説活動につき授与 米国から新会長も同席。
- ・長年この受賞委員会の委員長を務めニューカレドニア勤務となったアルメル・コルボも授与された。同氏はニューカレドニア州ヌメア勤務で委員長継続の予定。

6 カクテル・パーティ

隣の部屋で。1時間半程度。

7 RF文学賞選定委員長エリアヌ・ジョンズ氏宅昼食会

6月13日午後13時、ファダ会長ご夫妻と小生の3人、パリ14区のジョンズ氏邸に昼食のご招待を受けた。パリ大学都市とモンスリー公園の間。

窓からパンテオンの見える風景、ファダ会長自身は功績のあった人を讃えるのは重要であるものの、「個人的にはあの権威の象徴であるパンテオンは嫌いである」と明言され、シモーヌ・ベイユは本人の意思であそこに眠っているのではないと。あのアルベール・カミュも国家権威を嫌い、死ぬ前からパンテオンには行かないと明言して、プロバンスの住処の傍に眠っていると。

ジョンズ氏は、東京で共同講演した**吉川一義氏**を世界最大のブルースト研究者であると明言。瀬藤の同氏をルネサスフランセーズのメダージュ・」ドール賞授与候補者案に全面的に賛成すると。ファダ会長ご夫妻もまったく同意すると表明された。来年にはブルーストの

小説に出てくるコンブレー村の紅茶とマドレーヌを味わいにシャルトルの向こうの現地までの小旅行を企画したいと。



Jones委員長宅で 2025年6月13日